

## 第2回 県央県南広域環境組合第2期ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会 議事要旨

1 開催日時：令和3年8月6日（金）13時55分～16時45分

2 開催場所：県央県南広域環境組合 会議室

3 出席委員：8名

4 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

### 【報告事項】

① 前回議事内容の確認

② 実施方針の公表について

③ 協議事項及び事業者選定スケジュールについて

### 【審議事項】

① 入札説明書（案）について

② 要求水準書（案）について

③ 落札者決定基準について

(3) その他

(4) 閉会

5 議事録

(1) 開会（13時55分）

- ・事務局より開会のあいさつ。
- ・事務局より委員会成立の報告。
- ・事務局長よりあいさつ。

(2) 議事

- ・委員会の会議は非公開とする。

### 【報告事項】

① 前回議事内容の確認

- ・事務局より第1回委員会の議事内容と対応状況について説明した。

② 実施方針の公表について

- ・事務局より実施方針の公表と実施方針に関する質問・意見書の提出状況について説明した。

③ 協議事項及び事業者選定スケジュールについて

- ・事務局より協議事項及び事業者選定スケジュールの見直しについて説明した。
- ・入札説明書等の質問回答の時期、対面的対話の時期は事務局にて再度検討する。

## 【審議事項】

### ① 入札説明書（案）について

次の委員指摘事項について、事務局にて検討し、資料へ反映を行う。

- ・要求水準書と内容が重複する項目を削除し構成を見直してはどうか。
- ・閲覧資料にのんのこ温水センターに関する資料を追加した方が良い。
- ・閲覧資料の公表時期を早めてはどうか。
- ・対面的対話の時間をより長くし、重要な点を説明・確認する時間を確保した方が良い。
- ・入札参加が1社の場合の対応について記載した方が良い。
- ・入札の延期、中止になった場合の費用の負担について記載した方が良い。
- ・入札の無効に関する規定を記載した方が良い。
- ・事業者の選定・非選定に関する規定を記載した方が良い。
- ・インセンティブを与えるために売電収入の一部を事業者の収益とすることを再度検討してはどうか。
- ・アルファベット等の体裁が乱れている箇所があるので修正すること。

### ② 要求水準書（案）について

次の委員指摘事項について、事務局にて検討し、資料へ反映を行う。

〈第I編 設計・建設業務編〉

- ・事業の基本理念に記載の内容（第2期ごみ処理施設の基本方針）を全体計画や要求水準書全体にも反映すべきではないか。
- ・事業の基本理念の内容は、落札者決定基準書の提案項目に反映すればよい。特に、長寿命化に関する内容を提案項目に加えることを検討してほしい。
- ・「第1章第7節9.保証事項」の内容は、「第1章第7節1.予備性能試験」の前に記載した方が良い。
- ・「第2章第8節 地震対策」に、防災対策として必要な水源と薬品等の確保（備蓄）について追記した方が良い。
- ・「第2章第8節 地震対策」の中で、用語統一のため、構造体Ⅱ類の後ろに（重要度係数1.25）を追記した方が良い。
- ・「第3章第1節 受入・供給設備」の内容は、既存施設の状態や課題を反映した方が良い。
- ・「第3章第10節5.説明用備品類」に、VR（Virtual Reality：仮想現実）技術などの活用について記載し、全体計画との整合をとるべきではないか。
- ・「第3章第7節 灰出し設備」の見出し及び目次の（ストーカー方式）の表記は削除すること。
- ・「第3章第10節7. 分別啓発展示」において、最新のデータに更新可能な設備とすることを条件に加えることや、そのコンテンツの更新作業を事業者の業務範囲とするか検討すること。
- ・「第3章第10節7. 1) (1)」の冒頭に、「ごみを焼却する理由」の追加について検討してほしい。

- ・ごみピットの天井部を RC 造とするか、既存施設の仕様を確認したうえで検討した方が  
良い。
- ・外部に面する建具は既存施設の仕様を確認し、ステンレス仕様とスチール仕様のど  
ちらがよいか検討した方が良い。
- ・景観と調和した外観とすることを条件に加えることを検討すること。
- ・構成市や中継施設との情報が簡単に共有できるような IOT の構築について検討して  
はどうか。

〈第Ⅱ編 運営・維持管理業務編〉

- ・地元協定の内容を記載すること。
- ・セメント原料化する主灰、飛灰は水分量を少なくする条件を追加した方が良い。
- ・「第 8 章 3. 不適物の処理」において、不適物の意味を定義したうえで、除去した不適  
物処理の主体が組合か事業者なのか整理すべきではないか。
- ・ライフサイクルコスト低減を目的とした長寿命化計画とするという内容を記載した  
方が良い。
- ・中継施設からの搬入等に関し、IOT の活用を含め、連絡主体の所掌を記載すべきで  
はないか。

③ 落札者決定基準について

- ・P6 4.2 検討結果において、A 方式は直線的に変化していないため表現を見直すこと。

(3) その他

- ・次回委員会まで期間が短いため、事前配布資料が電子データのみとなる可能性がある。  
(事務局)

(4) 閉会 (16 時 45 分)